



憲法を守ろう・市原市民連絡会

5・3憲法記念日講演会

『戦争の加害者にも 被害者にもならないために』

～ いまできることを考えよう ～

講師 吉田 敏浩 さん(ジャーナリスト アジアプレス・インターナショナル 所属)
とき 5月3日(火祝) 13:00 開場 13:30 開会
ところ YOUホール 3階多目的ホール 入場無料



----- 【吉田さんのこれまでの活動】
1957年生まれ、大分県出身。77年以来、ビルマ、タイ、アフガニスタン、インド、バングラデシュなど、アジアの諸民族の世界を訪ねる。
1985年3月から3年7ヶ月に渡ってビルマ奥地を取材。その記録をNHKスペシャルにて発表。その著書『森の回廊』(NHK 出版)で第27回大宅壮一ノンフィクション賞(96年)を受賞。

----- 【吉田さんの最近の著書】
『民間人も“戦地”へ』岩波ブックレット(03年4月)
『ルボ 戦争協力拒否』岩波新書(05年1月)
着々と築かれつつある「銃後」の体制。この現実いかに抗するか？

- ◆ 「戦争を放棄して、平和国家を建設する」はずだったのに
それから60年。戦争体験を伝えることをおろそかにしてきたからでしょうか。戦争のできる普通の国になろうという動きが勢いを増しています。彼らがねらうのは第9条の改正です。
- ◆ 海外出動の歯止めは次々と破られて・・・
「日本は戦争をしない国になりました」と言いながら、自衛隊は戦地であるイラクへ行っています。このままではアメリカの戦争にどこまでも付き合う国になってしまいます。
- ◆ 日本は、アフガン戦争にもイラク戦争にも加担しています
インド洋では補給艦やイージス艦は米軍と一体となって活動しています。民間の技術者も派遣されています。イラク空爆の米軍機は、横須賀の航空母艦の艦載機です。地上部隊は沖縄の海兵隊です。
- ◆ 二度と「加害者にも被害者にもなりたくない」そのためには・・・ともに考えましょう！！
いま様々な形で「戦争協力」が進行しています。平和憲法を持つ日本なのに、アメリカに追随し、軍事に頼るしかないのでしょうか。いま、私たちにできることはなんでしょう？
- ◆ 呼びかけ人(あいうえお順)

飯高 和子 (書道家)	林 政子 (市原平和のつどい・代表)
大木 みつ子 (医療法人社団博瞳会常任理事)	松下 佳紀 (画家)
齋藤 和夫 (大学教員)	守川 幸男 (弁護士)
中村 美彦 (市原地区労議長)	山川 建夫 (元フジTVアナウンサー)

♪ミニ・コンサート
13:30～13:50
“あの素晴らしい愛を
もう一度”

主催 憲法を守ろう・市原市民連絡会
事務局 市原地区労内 (TEL& FAX 0436-21-5473 月水金)
URL <http://homepage2.nifty.com/i-tikurou/>
Mail to: i-chikurou@mf.point.ne.jp